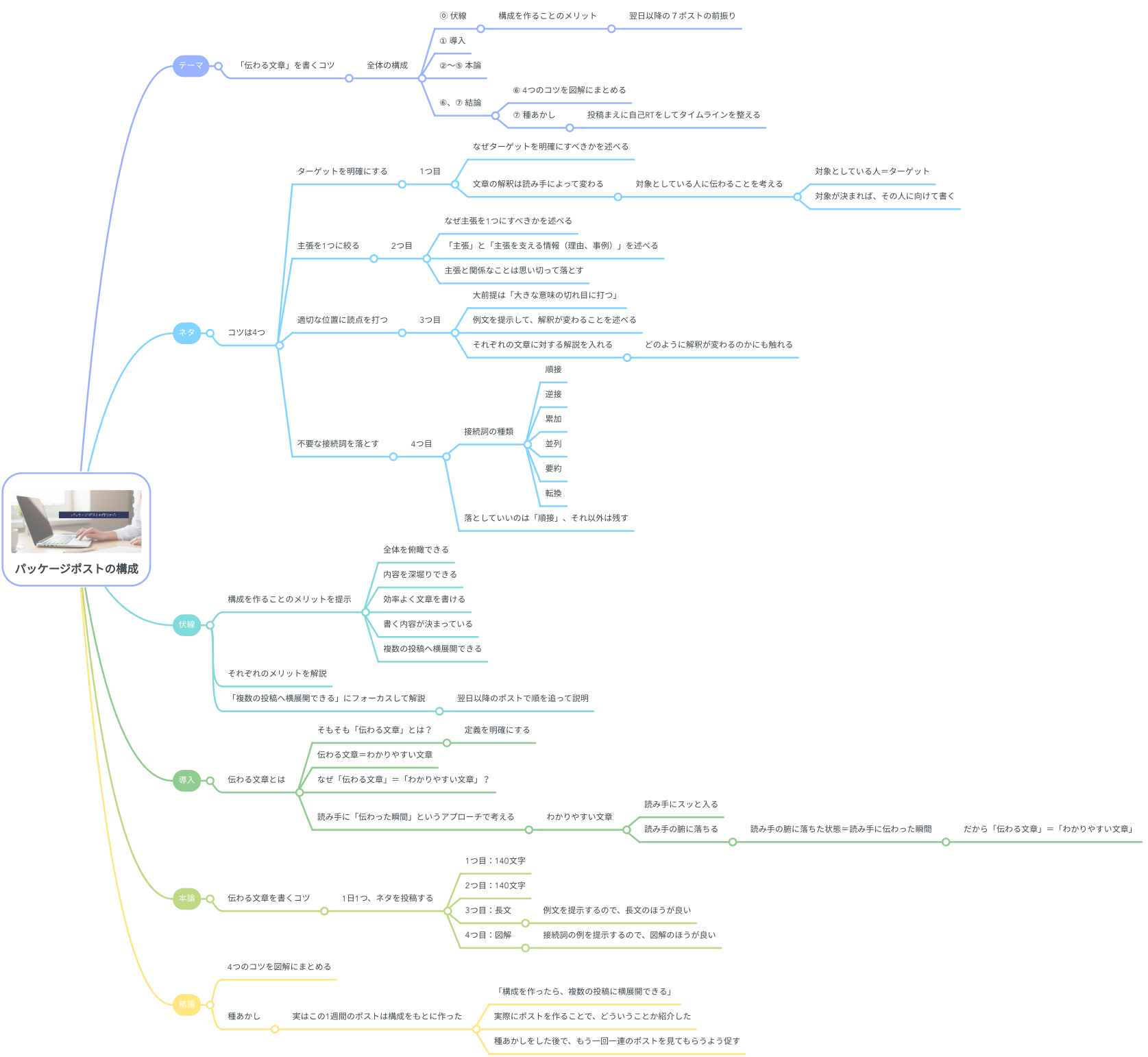




パッケージポストの構成

1. テーマ

1.1. 「伝わる文章」を書くコツ

1.1.1. 全体の構成

1.1.1.1. ⑥ 伏線

1.1.1.1.1. 構成を作ることのメリット

1.1.1.1.1.1. 翌日以降の7ポストの前振り

1.1.1.2. ① 導入

1.1.1.3. ②～⑤ 本論

1.1.1.4. ⑥、⑦ 結論

1.1.1.4.1. ⑥ 4つのコツを図解にまとめる

1.1.1.4.2. ⑦ 種あかし

1.1.1.4.2.1. 投稿まえに自己RTをしてタイムラインを整える

2. 伏線

2.1. 構成を作ることのメリットを提示

2.1.1. 全体を俯瞰できる

2.1.2. 内容を深掘りできる

2.1.3. 効率よく文章を書ける

2.1.4. 書く内容が決まっている

2.1.5. 複数の投稿へ横展開できる

2.2. それぞれのメリットを解説

2.3. 「複数の投稿へ横展開できる」にフォーカスして解説

2.3.1. 翌日以降のポストで順を追って説明

3. ネタ

3.1. コツは4つ

3.1.1. ターゲットを明確にする

3.1.1.1. 1つ目

3.1.1.1.1. なぜターゲットを明確にすべきかを述べる

3.1.1.1.2. 文章の解釈は読み手によって変わる

3.1.1.1.2.1. 対象としている人に伝わることを考える

3.1.1.1.2.1.1. 対象としている人＝ターゲット

3.1.1.1.2.1.2. 対象が決まれば、その人に向けて書く

3.1.2. 主張を1つに絞る

3.1.2.1. 2つ目

3.1.2.1.1. なぜ主張を1つにすべきかを述べる

3.1.2.1.2. 「主張」と「主張を支える情報（理由、事例）」を述べる

3.1.2.1.3. 主張と関係なことは思い切って落とす

3.1.3. 適切な位置に読点を打つ

3.1.3.1. 3つ目

3.1.3.1.1. 大前提は「大きな意味の切れ目に打つ」

3.1.3.1.2. 例文を提示して、解釈が変わることを述べる

3.1.3.1.3. それぞれの文章に対する解説を入れる

3.1.3.1.3.1. どのように解釈が変わるのかにも触れる

3.1.4. 不要な接続詞を落とす

3.1.4.1. 4つ目

3.1.4.1.1. 接続詞の種類

3.1.4.1.1.1. 順接

3.1.4.1.1.2. 逆接

3.1.4.1.1.3. 累加

3.1.4.1.1.4. 並列

3.1.4.1.1.5. 要約

3.1.4.1.1.6. 転換

3.1.4.1.2. 落としていいのは「順接」、それ以外は残す

4. 導入

4.1. 伝わる文章とは

4.1.1. そもそも「伝わる文章」とは？

4.1.1.1. 定義を明確にする

4.1.2. 伝わる文章＝わかりやすい文章

4.1.3. なぜ「伝わる文章」＝「わかりやすい文章」？

4.1.4. 読み手に「伝わった瞬間」というアプローチで考える

4.1.4.1. わかりやすい文章

4.1.4.1.1. 読み手にスッと入る

4.1.4.1.2. 読み手の腑に落ちる

4.1.4.1.2.1. 読み手の腑に落ちた状態＝読み手に伝わった瞬間

4.1.4.1.2.1.1. だから「伝わる文章」＝「わかりやすい文章」

5. 本論

5.1. 伝わる文章を書くコツ

5.1.1. 1日1つ、ネタを投稿する

5.1.1.1. 1つ目：140文字

5.1.1.2. 2つ目：140文字

5.1.1.3. 3つ目：長文

5.1.1.3.1. 例文を提示するので、長文のほうが良い

5.1.1.4. 4つ目：図解

5.1.1.4.1. 接続詞の例を提示するので、図解のほうが良い

6. 結論

6.1. 4つのコツを図解にまとめる

6.2. 種あかし

6.2.1. 実はこの1週間のポストは構成をもとに作った

6.2.1.1. 「構成を作ったら、複数の投稿に横展開できる」

6.2.1.2. 実際にポストを作ることで、どういうことが紹介した

6.2.1.3. 種あかしをした後で、もう一回一連のポストを見てもらうよう促す